

提案要旨	委員	発言回
【政策指標1】人の生活圏におけるツキノワグマによる人身被害者数		
クマへの直接的対策だけでなく、周辺環境の整備など間接的な対策を含めて取組を進めるべきである。	永沢委員	第1回
街中の自己防衛手段を持たない人のクマ遭遇が問題でありゾーニングしつつ県民の自己防衛策の周知が必要である。	岩根委員	第1回
デジタル技術を活用し、豊かな自然の脅威に対し次世代に向けた対策が必要である。	岩根委員	第1回
クマ等の探究を行う自然科学系の研究者を増やして科学的な取組を進めるべき。	永沢委員・ 岩根委員	第1回
クマを引き寄せる生ゴミなどの誘引物を放置しないよう地域全体で取り組むべき。	山本委員	第2回
クマの人身被害者数ゼロの達成に向け、年度ごとの段階的な中間目標を設定するべきである。	永沢委員	第2回
クマダスのアプリ化を進めるとともに、出没注意報を気象庁の大雨特別警報のように例えば5段階程度にレベル分けて、分かりやすくかつ効果的にするべき。	永沢委員	第2回
鳥獣対策のプロ集団を県で通年雇用し、狩猟期以外の収入も安定化させることで若手の参画を促すべきである。	山本委員	第2回
クマ肉の加工施設を整備するなど活用できる環境を整え、秋田に行けばクマ肉が食べられるイメージアップにつなげるべき。	山本委員	第1回
道路のガードレールをワイヤーロープに変更し、クマの発見を容易にすべきである。	永沢委員	第2回

提案要旨		委員	発言回
【政策指標 2】 県内の温室効果ガス排出量			
	簡単に実行でき県民も恩恵を受けられる、電力の再生可能エネルギーメニューへの切替を推進すべきである。	山本委員	第1回
	長期的には県産再生可能エネルギーの活用を県内企業に徹底してもらい、企業誘致につなげるべき。	山本委員	第1回
	行動変容を促すため、価格だけでなく、秋田の自然環境が守られるといったストーリー性の発信が重要だ。	岩根委員	第1回
	脱炭素化に向け、低所得層や高齢者等へ福祉的意味も込めた住宅の断熱改修等の補助や工務店向けの普及啓発を行うべき。	山本委員	第2回
	カーボンニュートラルだけでなくクマの誘因物削減にもつながるため、県民向けにゴミ減量化の取組を継続して実施すべき。	西野部会長	第2回
【政策指標 3】 交通事故死者数			
	高齢者等が危険な車道を走らないよう、自転車が行き可能な歩道について積極的な周知が必要である。	西野部会長	第1回
	高齢ドライバー等に対し、シミュレーターを活用した認知機能の衰えを自覚できる乗車体験の機会を設けるべき。	山本委員	第2回
	免許返納を促すだけでなく、返納後のデマンドタクシーや買い物支援など、利便性の高い移動手段を整備すべき。	山本委員	第2回
	自転車の安全利用のため、自転車専用レーンの色分けや、歩行者と自動車の物理的な分離を推進すべきである。	山本委員	第2回

提案要旨		委員	発言回
【その他の提言に関する項目】			
施策３：犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する			
方向性２ 犯罪被害者等への支援			
	犯罪被害者ワンストップサービスについて、実際の利用事例の創出や制度のさらなる浸透を図るべきである。	西野部会長	第2回
方向性４ 自立した消費者の育成とデジタル技術を活用した被害防止対策の推進			
	A I を用いた巧妙な特殊詐欺等の被害防止のため、県として粘り強い注意喚起を継続して行うべきである。	岩根委員	第1回
	特殊詐欺被害を入口で防ぐため、出前講座等による高齢者向けの消費者教育を繰り返し継続実施すべきである。	西野部会長	第1回
方向性５ 総合的な雪対策の推進			
	除雪ボランティアの負担が限界のため、民間事業者による除雪事業やビジネス化を支援する取組が必要である。	永沢委員	第1回
	屋根の雪下ろし作業に伴う転落などの事故防止に向け、県として粘り強い注意喚起を継続して行うべきである。	岩根委員	第1回
施策４：快適で質の高い生活環境を実現する			
方向性１ 食品衛生管理の推進			
	食品衛生管理の体験実習は、高齢化等による担い手不足解消や職業選択に繋がる方向性で実施すべきである。	山本委員	第2回
方向性２ 生活衛生関係営業者への支援			
	現在の営業者への支援だけでなく、新規参入を目指す人の後押しやモチベーションに繋がる支援を行うべき。	西野部会長	第2回

提案要旨		委員	発言回
方向性3 動物の愛護と適正な飼養の推進			
	犬や猫の適正飼養に向けて、ドッグトレーナー等との連携を進めるべきである。	山本委員	第1回
方向性4 県民生活を支えるデジタル技術の普及促進と情報通信インフラの充実			
	オンライン申請の利用率向上には、県民が一度強制的にでも利用し便利さを体験する機会を設けるべきである。	永沢委員	第1回
	利用者のつまづきを防ぐため申請フォームを改善し、手続きが簡単だという成功体験を持たせることが重要。	西野部会長	第1回
【全体に対する意見】			
	施策4はタイトルと内容が一致しておらず、具体的な政策が分かる表現にしてはどうか。	山本委員・ 西野部会長	第2回
	環境・くらし分野は県の各政策の土台となるものであり、総合計画における本分野の立ち位置や内容を再考すべき。	永沢委員	第2回